

「今月の主な紙面」

2. 学運交座長賞受賞演題の紹介
わんこにゃんこ
3. 学運交座長賞紹介、国民署名、お気に入り、まんが
4. 相談室、年末奨学生会議、パズル、読者のひろば

愛知民医連

愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番3号
☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
発行責任者 武田 修三
URL : <http://www.aichiminiren.jp/>
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp

第500号

みなと医療生協 へいわバスツアー 名南会「医の倫理と戦争」上映会

止めよう戦争への道 広げよう非戦・人権・くらし



満蒙開拓平和記念館前で集合写真

◇大変な思いをして帰国した人々の思いを学んで心がぶれる思いです。戦争とは本当に何もかも押し潰し悲惨なもの。決して起こってはならないと思うのに今の世界情勢は？周りの人に少しでも伝えていかなければならないと思った。

◇体験者の方たちの証言は想像に絶するもの

【参加者感想】

平和願って9年ぶりに12月7日、9年ぶりとなる「へいわバスツアー」を開催し、38名が参加しました。久しぶりに再会する方や初めて顔を合わせる方もおり、行きのバス車内で各参加者が自己紹介を含め平和への思いなどを話され、和やかな空気の中で一日が始まりました。

長野県阿智村・満蒙開拓平和記念館
最初に訪れたのは、長野県阿智村にある満蒙開拓平和記念館です。この記念館では、戦前・戦中に国の政策として進められた満蒙開拓の歴史と、その陰で多くの人が経験された苦難を後世に伝える施設で、ガイドの方のわかりやすい説明を聞きながら、参加者は一つひとつの展示に足を止め、静かに見入っていました。

馬籠宿を散策
その後訪れた馬籠宿では、昼食や自由散策を楽しみました。石畳が続く昔ながらの宿場町で、名産品のお店をまわったり、写真を撮ったりとそれぞれが自由に過ごしました。学びの時間から一転し、ゆったりとしたひとときとなりました。

今回のへいわバスツアーは、平和について学ぶとともに、参加者同士の交流を通して、人とのつながりの大切さを感じられる一日となりました。

みなと医療生協 へいわバスツアー

満蒙開拓平和記念館
見学と馬籠散策
戦争の悲惨さを学び、
平和への思いを
あらたに



健康推進室
今井 悠太

戦争731部隊の
戦争犯罪と現在の
医療現場の問題を描く
ドキュメンタリー映画
名南会社保平和委員会では映画『医の倫理と戦争』上映会運動に取り組んでいます。

戦争が起こった時には医療従事者も非人道的な行為に
加担することになります。

私は昨年10月25日の「日本平和大会in愛知」でこの映画を観て、731部隊のことを初めて知りました。私たち医療従事者も戦争が

名南会 「医の倫理と戦争」 上映会

社保平和委員会が企画
のべ55人が鑑賞
医療に携わる者こそ
戦争反対の声を
あげていこう

12月には名南会本部事務局、ふれあい病院、名南診療所の各会議室で合計6回、延べ25名の職員が鑑賞しました。



平和記念館の資料映像で学習

願う子どもたちの気持ちが伝わってきた。勇気づけられた。

◇平和学習に学校からや他県の修学旅行に訪れると伺い、開館以来活動されている意義を改めて実感しました。行きのバスで富田祥子さんの北朝鮮からの引き揚げの話を聞き、想像絶する体験に心が打たれました。幼少



馬籠宿で自由散策

期の体験は大事にしたいし平和な生活の中で子育てする普通に生活することが印象的でした。

まちづくり支援広報部
原田 良樹



みなと

☆1月10日に中川・中村地区と海部地区それぞれが、17日に港地区が、31日に熱田・瑞穂地区が「新春のつどい」を開催、モルック大会を楽しみました。

☆1月29日に介護付有料老人ホーム虹の郷では、摂食・嚥下障害認定看護師を講師に迎えて、施設内学習会を開催しました。

南

☆「おたがいさまの福祉まちづくり交流会」を開催。豊明・東郷ブロックは「移動について考える」テーマで豊明市職員の方から公共交通施策やおたがいさまセンターちゃつとの報告とグループ交流をしました。

☆今年、南生協創立60周年、南生協病院開設50周年記念事業推進会議も開始しました。

北

☆1月のこども食堂は、14日めいほくわい食堂171名、17日あじまわい食堂171名、17日あじまわい食堂171名参加でした。

☆餅つき大会は、東部準備ブロック350名以上、西区ブロック74名、あじまブロック238名、わかばブロック128名が参加。職員と組合員の協同で地域に医療生協をアピール。

名南

☆1月24日に法人学術集談会を開催し110名の参加

尾張

☆2月7日選挙前緊急スタンディングアピール行動を行い、理事長はじめ22名が参加、「改憲NO」や「地域医療をまもれ」など横断幕を広げ、バス通りで訴えました。

☆1月17日、尾張健友会グループ共済会大新年会を開催。200名超の職員がクイズや抽選会に一喜一憂し、盛り上がりしました。

ファルマネット

☆ロキソニンやヒルドイドなど、市販薬に同等の製品がある医薬品（OTC類似品）の医療保険適用が縮小されて薬価の1/4相当の自己負担をかける動きがあります。組合員さんからの要望に応じて班会メニューにして、事実関係を整理してお知らせしています。

はみんぐ

☆1月19日当法人の「社保平和気候委員会」とりくみについて、全日本民医連から取材を受けました。総会学習ビデオで紹介されるこのことです。

☆「地域医療まもる署名」は、目標千筆を超える1050筆を集めました。

☆理事会で社員増やしにとりくみ、1月末に100名を突破しました。

県連第55回 学術運動交流集会 座長賞受賞演題の紹介

昨年11月23日に開催された、愛知民医連第55回学術運動交流集会で座長賞を受賞した演題から3点紹介いたします。

車椅子で眠っている 時間をなんとかしたい

協立総合病院 5東病棟
看護師・主任 濱田 麻子

【離床することのメリット】
嚥下機能の維持
筋肉量の維持
血液循環が良くなる
腸の動きが良くなる
ストレス解消
気分転換 などなど

ここにいるといけないの？

ベッドに戻りたい

眠たい

「車椅子で…なんとかしたい」 パワボより

・ 詰所で促す塗り絵や計算は長く続かない
・ 2024年度は医師の増員により、手術件数が増加し、業務が多忙に
・ 時間の確保
・ 人員の確保

「デイサービス化グループ」の立ち上げ

看護師

リハビリ

「車椅子で…なんとかしたい」 パワボより

にほんの せいかつは
べんりで たのしい。
まいにちが あたらし
いはつけんです。

かいごの やりかたが
ちがうことも あったけど
せんぱいたちに たくさん
おしえて もらいました。

にほんごは、むずかしい
にほんごけんていN3
じゅけんして スキルを
こうじょうさせたい。

さいしよは、さびしく
てかえりたかった。
いまは もっとながく
はたらきたい。

「日本に来て1年、虹の郷で…」 パワボより

私たちの学び

優しい声かけ

利用者
を
家族としてみる
温かい気持ち

高齢者への
尊敬の念が
すごい

仕事か丁寧
手を抜かない
努力を惜しまない

自分の辛さや
不安は見せず
いつも笑顔

ゼロからのスタート
だったので私たち
初心にかえれた

「日本に来て1年、虹の郷で…」 パワボより

めたのでここに報告します。

離床時間を有意義なものに

開始したきっかけは発表の題名にもあるように「車椅子で眠っている時間をなんとかしたい」と思ったからです。ADLを落とさな

生活リズムを整える、抑制時間の短縮、ADL低下予防、認知面や精神面の安定を目的とし、週1回、患者さんを10人前後選定し、みんなで歌を歌い、風船バレーやクイズをしました。眠っていることの多い方も積極的に参加している様子がみられ、小集団リハに参加している患者さんの様子を見て、家族からも「いいです

ね」とお言葉をもらい、良い反応を頂けていると感じています。

スタッフの多くが

手応えを感じて

はじめは手術や処置と重なり中止する日もあり、このまま習慣化せずに終わってしまわないかと心配したときもありました。しかし、実施することで患者さんの

日本に来て1年

虹の郷で頑張ってます

介護付有料老人ホーム 虹の郷
介護福祉士

鈴木 福実

職員不足から

ワンフロア閉鎖となり

当施設は2年前、職員不足となりワンフロアを閉鎖。2024年8月、インドネ

シアから特定技能1号の在留資格を持つ介護職員4名が配属されました。受け入れ準備で、NPO 外国人サポートセンターの

方にオンラインで文化や習慣、やさしい日本語などを教えていただき、漢字は振り仮名がないと読めないため、業務に必要なものすべてに平仮名でルビをふりました。7名の教育担当をおき、より多くの職員が教育に必ず関わる体制をつくりまし

生活様式・文化の

違いへのサポートも

介護技術は勿論、日々の

業務の中で日本語の使い方も指導。教育担当や管理者が定期的な面談を行い、日常生活や体調面でサポート。

初めの頃、使用後のトイレが水びたしで、驚いたことがありました。インドネ

シアでは、使用済みのトイレは水びたしの方が綺麗だと知り、生活様式や文化の違いを認識し、日本式に慣

れてもらいました。ヒジャブ、礼拝は大切な文化ですが、勤務中はできないことを理解してもらっています。

彼女たちと共に

私たちも成長した1年

優しい声かけ、高齢者への尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

を家族のように温かく、努力家……。

人としての温かさを彼女達から学びました。

最初に「ちょっと待つて」や「座っていて」と悪

気なく声をかける彼女たちは、良いことも悪いことも

私たちの影響を受けていま

した。彼女たちの姿は私たちが勉強することは大変だ

と思います。その目標に向かつて、一生懸命に介護

や日本語を学習する彼女たちを出来る限りサポートしていきます。今後もワ

ンチームとして、お互いに理解を深めながら頑張ってい

きます。

今後もワンチームで

夜勤やリーダーも独り立

た。

彼女たちと共に

私たちも成長した1年

優しい声かけ、高齢者への尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

の尊敬の念、笑顔、利用者

豆太郎と 飼主初心者



12月に家族が増えました。ゴールデンレトリバー1（GR）の豆太郎です。

我が家にはずっと複数の犬猫が同居しています。が、定年後にもう一度G

Rを飼うのが夢でした。今回、小6の孫が世話係をかって出てくれたので夢がかないました。

心配していた先住猫たちとも、じゃれあったり追いかけたりでなんとかうまくやっています。

豆太郎は日に日に大きくなり、買主初心者は噛み癖に悲鳴をあげています。豆太郎と買主初心者両方のしつけと世話を

楽しむ毎日です。

クリニックレインボー

薬剤師 岩瀬 仁美

豆太郎
ゴールデンレトリバー
4ヶ月

月一緒に考える「オレ流」トイレについて月

生協わかばの里

ユニット型介護老人保健施設

介護福祉士

飛岡 佳代子



在宅復帰に向けて

排泄面に不安を抱える

利用者様への支援

自尊心が高く、ジャズとバイクが好きなどこだわりが強い性格で礼儀を重んじる利用者様に対して支援した事例です。

在宅復帰に向け、排泄面

た。

なぜ介入拒否が増えたのか？本人と話し合いました。「付き添いなく自分でトイレがしたい」「アドバイスは好きではない」と率直に話してくださいました。私たちは排泄の失敗を防ぐ事ばかりに気を取られ、本人の自立心の表れには気が付かなかったのです。

一人ひとりの思い・「オレ流」に寄り添った排泄支援施設には、在宅復帰や他の施設を目標に一人ひとりの思いに寄り添った排泄支援があり、サービスの質を向上させ本人の自信とやる気に繋がるのではないかと感じました。

「いのちの章典」——自己決定権に立ち戻っていのちの章典にある「自己決定とプライバシーを尊重する介護を受ける権利」を基に、二回目の実践では困った時のみ声をかけるように取り組みました。その結果、介入拒否は減少し「ありがとう」の言葉が聞かれるようになり笑顔が増えました。

に不安を抱えている利用者様に一人でトイレでの排泄が出来るように支援しました。

次第に介入拒否、

怒りや苛立ちまでも

在宅復帰を目指す中で

「失敗が多く、特に夜間のトイレが心配」とご本人も悩んでおられました。はじめは安全にトイレが出来る様に介護士が毎回付き添いパット交換の声をかけを行う事にしましたが、次第に介入を拒否されるようになり、怒りや苛立ちが見られまし

ところが、在宅復帰に向けた退所前訪問で息子様がトイレまでの歩行の際の転倒への不安を理由にポータ



実践結果

- ・女性スタッフ介入拒否
- ・アドバイスに立腹

なぜ？
失敗を無くすことに捉われ
プライバシー・羞恥心への
配慮がなかった

「一緒に考える「オレ流」トイレ…」パワポより



再計画・2回目の実践

在宅での排泄を意識

- ・本人を尊重し、排泄動作を見守る
- ・困っている時だけ介入



- ・介入拒否軽減
- ・自主的にパット交換を行っていた
- ・トイレでの排泄に前向きになった

「一緒に考える「オレ流」トイレ…」パワポより



ポータブルトイレ 練習結果



M様の反応・結果

- ・誰が掃除するんだ！
- ・かっこ悪いな～恥ずかしい
- ・トイレ使う！



自分の意見をはっきりと伝えた

「一緒に考える「オレ流」トイレ…」パワポより

モさん日記「長崎③」



作・森 賢洋
(千秋病院 放射線技師)

民医連の事業と経営を守り抜き
地域医療の崩壊を
なんとかしてもくい止める
ための緊急行動

「国民署名」は

全国で821,823筆

(2月6日現在)

愛知民医連は17,698筆

(2月9日現在)

全日本民医連の提起で昨年7月から始まった署名「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名」は、半年で全国で73万筆を越えました。

3月の国会行動日程は明らかになり次第、各法人へ参加のご案内をいたします。積極的なご参加をお願いします。

また、各事業所や組合員、共同組織のお手元に残っている署名は大至急ご提出くださいますようお願いいたします。

愛知民医連での集約も1万7千筆を超える集約となっています。

この間の各法人の皆様のご協力に感謝申し上げます。この署名は、2月2日に国会提出が予定されていますが、高市早苗首相による道理も大義もない衆議院解散、総選挙の情勢となり、急きょ国会行動は3月に延期となりました。

総選挙後の国会の枠組みは変わることになりますが、民医連の事業と経営を守り、地域医療を維持・存続をさせる緊急支援や医療・福祉を守るための税金の使い方の改善は、引き続き最優先の政治課題です。今後も国民の医療を守る運動へのご協力をお願いします。

酸っぱさ、弾力、ハート型の
かわいさに惹かれています♡



わたしのお気に入りにはピュレグミです。グミは、味だけでなくソフト、ハード、パウダーなどのタイプに分かれ食感を楽しんだり、色や形などのかわいさを楽しむことができます。

私はピュレグミの酸っぱさや弾力、そしてハート型のかわいさに惹かれていつも買ってしまういます。

いま絶賛矯正中で1年

ほピグミを我慢していましたが、矯正仲間の友達に、矯正中であることを知り、グミデビューをしました。久しぶりに食べるピュレグミのおいしさに感動でした(涙)

名南会健康推進室
事務 中村 仁美

将来の医師像を語り合い、 交流を深めた年末奨学生会議



グループワークで目指したい医師像を語り合いました

昨年12月27日、労働会館会議室で年末奨学生会議が開催されました。この会議は、学年や大学を超えて奨学生同士の交流を深め、将来の医師像を考えることを目的に実施されました。当日は奨学生14人、医師5人、職員5人が参加しました。午前中は水餃子作りを通して交流を深め、初対面同士でも自然に会話が生まれる雰囲気となりました。午後は講演と少人数討議を行い、中澤幸久医師（医師委員長）が「協立総合病院での外科医人生」をテーマに、患者に寄り添う医師の姿勢や人との出会いの重要性を語って下さいました。森英一医師（北医療生協理事長）は「北医療生協のPFASへの取り組み」を紹介し、医療者が社会問題に向き合い行動する重要性を示されました。



水餃子づくりで和やかな雰囲気

討議では学生同士で、患者に寄り添う医師とは何か、将来目指す医師像について意見を交わしました。

愛知民医連
事務局次長 西崎 剛



連載 ⑨7

主介護者が
認知症を
抱えながらも
「最期まで自宅で
暮らしたい」
という願いに
こたえて

Aさん（80歳・男性）は、既往歴に脳梗塞、前立腺癌があり、膀胱留置カテーテルを挿入しています。大腿骨を骨折し、回復期リハビリテーション病院に入院。入院中に脳梗塞を発症し、退院後のサービス利用に当施設へ

ショートステイの相談がありました。Aさんは、左上下肢に重度の麻痺と嚥下障害が残存し、日常生活全般に介助が必要です。自宅で主に介護を担うのは認知症のある妻ですが、同じ区内に住む長男の協力は得られず、長女は遠方のため日常的な支援は困難な状況です。自宅へ迎えに行くこと、利用を忘れており、混乱しているAさんと妻の姿がありました。まずはAさんと妻へショートステイの目的を丁寧に説明し、納得してもらいました。そして、妻の管理が難しい内服・排便状況を訪問看護事業所と長女に連絡

して、施設まで送迎をしました。ショートステイ帰宅時は、次回のショートステイの日程を妻が忘れないようメモに残し、さらに利用中の様子を連絡帳に記載することで、家族だけでなく、在宅関係者との連絡を密にしました。そのことで、妻が安心してショートステイを利用できるようになりました。

こと「居室の前に目印を掲示」することを徹底し、妻が戸惑うことなくAさんの部屋に行けるよう配慮しました。超高齢化社会に直面する今、主介護者が認知症となるケースも増えていきます。それでも「最期まで自宅で暮らしたい」と願う方がいます。その方のために、在宅支援チームと協力して、1日でも長く自宅生活が送れるように支援していききたいと思えた事例です。

名南介護老人保健施設
かたらいの里

支援相談員

坂崎 紀仁



駆け寄ってきます

老健あんき

看護師 小川 美由紀

ペットのモルモットを可愛がっています。夫に撫でられていても私が近くに行くと駆け寄ってくるので優越感があります！笑

誕生月健診

老健かたらいの里

ケアマネ 真柄 久美代

今年もやって来ました！誕生月の健康診断！ジムやプールに通っているが全く痩せてません。でも少しは健康になってるかな？

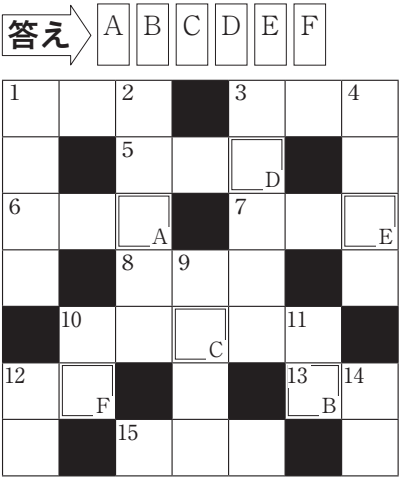
長女が成人式
名南訪問看護STきずな
看護師 青山 理恵
今年は、長女が成人式に出席するために朝早くから振り袖の着付けで大変でした。

り、肩や腰、股関節などを痛めやすくなってきました。元気な高齢者になれるようサボっていた筋トレを再開しようと思います！
子どもの成長に驚き
千秋病院
理学療法士 尾藤 雅彦
まだ5ヶ月の子供もですが、既につかまり立ちをしてハイハイしてめちゃくちゃ成長して動き回っています。子どもの成長に驚く毎日です。

筋トレ再開しよう！
介護付老人ホーム虹の郷
作業療法士 河合 雅代
人生折り返しの年齢にな

クロスワードパズル

クロスを解いてA～Fに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね



(出題 北メンタルクリニック事務 幅しのぶ)

【たてのカギ】

- 1 車に搭載。道案内してくれる
- 2 魚類学者、ふぐの帽子がトレードマーク
- 3 葉の葉から枝にとまって遊ぶのは？
- 4 ラッキー
- 9 チチカカ湖、ウユニ塩湖がある国
- 10 出世魚、小さいときはイナダ、ハマチ
- 11 広島県の都市
- 12 あん、じゃむ、コッペ、カレー、フランス：オール電化の家では使わない

【よこのカギ】

- 1 監督、検査すること
- 3 バレンタインといえば
- 5 神話の時代
- 6 アブラナ科の野菜
- 7 軽くてあたたか、ジャケットや布団に入れる
- 8 へこんだ土地、周囲より低い土地
- 10 醤油は大きさ1、みりんは大きさ2、ちゃんと計ってね
- 12 「花の都」といえば：織姫星、こ座にある1等星
- 15 ユーカリが主食

〈クロスワード当選者〉



1月号、正解は「福笑い（ふくわらい）」応募総数27通で全員正解でした。次の方々が当選されました。

・明石 雅之さん

（千秋病院デイケア）

・長尾 貴志さん

（協立総合病院）

・土川 めぐみさん

（名南ふれあい病院）

〈応募要項〉

あて先は、〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛。
①こたえ、②事業所名、③職種、④氏名、⑤近況や紙面の感想、を記入し、ハガキ・FAX・電子メールでご応募ください。QRコード



https://goo.gl/k5hZMy

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

理事会報告

☆高市政権は、国民のくらしの困難を振り返ることなく、予算審議も先送りし、通常国会冒頭で解散し総選挙を実施しようとしています。（本号発行時点で選挙後ですが…）私たち民医連は、「いのちとケア、暮らしに税金を使う政治に転換しよう！」「病気の人がからかえ取るな！」「戦争はしない、させない、準備もしない！」の声を選挙で訴えます。

☆「地域崩壊をくい止めるための緊急行動提起」の取り組みでは署名1万6643筆の到達となりました。県下12の医療機関からも多くの署名が集まりました。また、病院の経営状況アンケートも県下21の医療機関が回答を寄せてくださいました。総選挙で延期になったしまった署名国会提出行動は改めて3月に予定されます。

☆12月26日、全日本民医連は介護保険・利用料負担見直しに対する緊急影響調査の記者会見を行いました。4割が「利用を控える」と回答。「介護離職」も加速する影響がでます。

☆1月17日に全日本民医連第47回定期総会方針（案）が発表されました。民医連新聞号外が配布されます。今後2年間の運動方針を決める内容が記載されています。事業所、職場で学習討議をすすめましょう。意見募集をします。ので、県連事務局まで意見を寄せて下さい。

【1月23日第7回理事会

県連事務局長 武田 修三